

# 北東アジア政策懇話会 第7回研究フォーラム

4/22

NPO北東アジア輸送回廊ネットワークNEANETと(一財)みなと総合研究財団「みなと総研」は、

みなと総研3F会議室で、4月22日(金)午後4時から、北東アジア政策懇話会・第7回研究フォーラムを開催した。今回は、李燦雨(朝鮮)帝京大学現代ビジネス学科専任



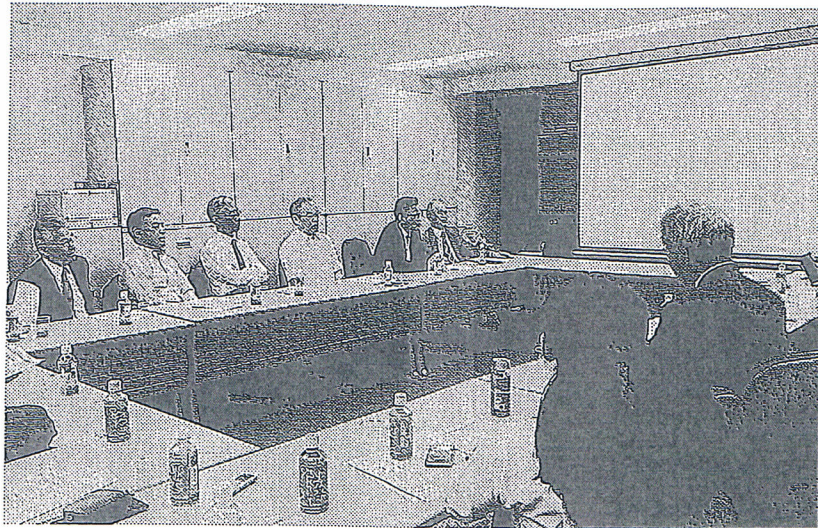
李講師



鬼頭みなと総研理事長



吉田NEANET会長



第7回北東アジア政策懇話会研究フォーラムの様相

講師が「朝鮮半島における南北関係の現状と展望」のテーマで講演をした。

講演に先立ち主催者の吉田進NEANET会長の「講師は南北朝鮮の経済研究の第一人者であり、かつてERINAの研究員として環日本海交流についての研究にも従事しておられました。また、最近、日韓両国研究家の共同執筆になる関連出版物の執筆にも参加されています。それらの経験と見識により、有益な講演を頂きます」とあいさつをした。

続いて鬼頭平三(みなと総研理事長)が「近時の緊張関係の中で、我々として今後の展望を如何に理解すべきかの参考になるものと期待しています」と、あいさつをした。

さらに同会の東山茂NEANET理事長が、李講師を紹介した。

講演に入り、李氏は、朝鮮半島における南北関係の現状と展望のテーマで、朝鮮半島の地域性、朝鮮半島

の懸案問題、南北関係を見る様々な視点、韓国及び北朝鮮の政治・経済・港湾・外交の現状と課題について多角的に説明をした。

その後、今後の外交関係の推移を見守ることが第一との認識の中、熱心な質疑応答がなされた。

### ◎講師

・李燦雨(リチャンウ)氏(帝京大学現代ビジネス学科専任講師)

・略歴 1961年 慶尚南道・鎮海市生まれ、1986年~1999年国立ソウル大学国史学科を卒業し、大宇経済研究所の北東アジアチーム・研究委員、民主平和統一諮問会議(大統領諮問の憲法機関)・常任委員など、1999年~2003年 ERINA(環日本海経済研究所)客員研究員として北東アジア地域の経済協力に関する調査研究、2003年~2010年 笹川平和財団・汎アジア基金室長、2012年 帝京大学現代ビジネス学科専任講師